



令和2年6月 市議会定例会

令和2年度一般会計補正予算を可決 新型コロナウイルス対策や教育の情報化を推進

平塚市議会は、令和2年6月2日から6月25日まで、24日間の会期で6月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、条例の一部改正や令和2年度補正予算、人事案件など22案件が提出され、審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、同意しました。

また、議員から意見書提出に関する1件の会議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決しました。

※議案と審議の結果は7面に掲載しています。

新型コロナウイルス感染症対策に質疑が集中

今定例会は、新型コロナウイルス感染症対策として、本会議の出席者数を調整し、間隔を空けた座席配置にしたほか、質問時間を短縮するなど、密集を避けたい会議運営を行いました。

総括質問では、市が実施した新型コロナウイルス感染症緊急対策や、中止・延期となったイベントの予算措置などについて、質問がありました。

今回提案された一般会計補正予算にも新型コロナウイルス対策関連の経費が計上されました。主なものとして、放課後児童健全育成事業では、感染拡大防止のために放課後児童クラブの利用を控えた保護者に保育料の一部を返還する経費6



「夕照の海辺」

—暮れゆく夏の平塚海岸—

一般会計補正予算の一部を紹介

- 自治会館等整備助成事業
自治会館建て替えの助成経費…………… 315万円
- 予防接種事業
口タウイルス及び風しんの予防接種の実施に伴う経費…………… 4,293万円
- 破碎処理施設運営事業
粗大ごみ破碎処理場の搬出コンベヤ修繕に伴う経費…………… 300万円
- 農道・用排水路維持管理事業
農道及び用排水路の改修に伴う経費…………… 1,800万円
- 橋りょう震災対策事業
地震による橋りょうの倒壊を防止するための耐震化工事に伴う経費…………… 4,550万円

812万円が計上されました。また、ひとり親世帯臨時特別給付費として、感染拡大の影響を踏まえ、ひとり親世帯の子育て負担の増加や収入減少に対する支援をする経費2億4886万円が計上されました。

このほかに、教育の情報化推進事業では、小・中学校に1人1台コンピュータを整備する国のGIGAスクール構想に係る経費14億2475万円が計上されました。

採決では、全員異議なく可決しました。

工事請負契約の締結

相模小学校新築工事（プール棟・建築）の予定価格が1億7千万円以上であることから、議会の議決が求められました。

常任委員会では、入札の

5月臨時会を開催

令和2年5月18日に、市議会5月臨時会を開催し、議案質疑や常任委員会委員などの選任を行いました。

今臨時会では、市長提出議案として、条例の一部改正や専決処分承認、人事案件など11案件が提出され、審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、承認、同意しました。

令和2年度一般会計、国民健康保険事業特別会計及び病院事業会計では、新型コロナウイルス感染症対策に係る経費について迅速に対応する必要が生じたこと

2議員表彰される

市議会議員在職25年以上となる議員及び4年以上正副議長の職にあった議員が、全国市議会議長会から表彰されました。

定例会最終日の本会議終了後に、議長から表彰状の伝達披露がありました。

市議会議員在職25年以上となる議員

- 山原栄一議員(湘南フォーラム)
- 出村光議員(湘南フォーラム)

4年以上正副議長の職にあった議員

- 山原栄一議員(湘南フォーラム)

人事案件に同意

- 農業委員会委員の任命に関する議案が提出され、各氏とも全員異議なく同意しました。
- 伊藤啓子氏(東真土二丁目)
 - 猪俣誠造氏(上吉沢)
 - 横山篤正氏(上吉沢)
 - 上原敏行氏(長持)
 - 奥山重子氏(岡崎)
 - 香川正明氏(岡崎)
 - 小宮勝氏(横内)
 - 笹尾美香氏(南原二丁目)
 - 佐藤光夫氏(下島)
 - 清水二生氏(南金目)
 - 高橋立一氏(平塚四丁目)
 - 露木潔氏(山下)
 - 長尾均氏(豊田宮下)
 - 松木寿永氏(東真土三丁目)

会を開催

さらに、議員からの報酬月額削減に関する議案が提出され、原案どおり可決しました。

(議案と審議の結果は2面、新しい常任委員会などの委員構成は8面に掲載しています。)

主な内容

総括質問	2~7面
清風クラブ	2・3
野崎審也 諸伏清児 坂間正昭	
しらさぎ・無所属クラブ	4
江口友子 金子修一	
公明ひらつか	5
鈴木晴男 上野仁志	
湘南フォーラム	6
出村 光	
日本共産党平塚市議会議員団	6
石田雄二	
無所属	7
久保田聡 小泉春雄	
常任委員会の審査概要	3・5面
審議の結果	7面

総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」として行います。今定例会では、11人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介いたします。

★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

清風クラブ



ウィズコロナと新たな日常
未来につなげるまちづくり

野崎 審也 議員

問 外出自粛や休業要請などの影響を検証した中で、第2波への考え方を伺う。

市長 感染症対策とともに経済活動や地域活動を再開させ、人と人、地域のきずなを深める取り組みを進める。さらに、この難局を社会改革の契機として、AIやテレワークなどの情報技術を活用したまちづくりなど未来につなげる足掛かりにしたいと考えている。

問 市民は1日も早い支援を必要としていると思うが、職員は危機意識をもって取り組んだのか。

市長 第一に市民の生命、財産を守ることを中心に考えながら、職員の安全対策も含めて対応するよう厳しく伝えてきた。その中で、特別定額給付金の申請書をダウンロードできるようにする取り組みなどを行い、決して意識が低いということはないと思う。

■新生児への給付金を提案

問 国の特別定額給付金は、基準日が令和2年4月27日であるため、28日以降に生まれた新生児は支給対象外である。子育て支援策として、対象外の新生児に

対し、新たに10万円を給付するべきではないか。

企画政策部長 地方創生臨時交付金の活用も含め、新生児への給付金について協議を進めていきたい。

■医療提供体制の状況

問 平塚市民病院の医療体制について伺う。

市長 感染が疑われる患者と一般患者の病棟を分離し、不急の手術や検査を延期したほか、面会禁止やエリアの制限、換気対応などを行っている。感染防止資材が多くの市民や企業、団体から寄贈され、不足分が補われている。

問 経営状況を伺う。

市長 4月実績では、前年同月と比較して患者数が入院、外来とも大幅に減少し、手術数も減少した。4月の医業収支は約2億6千万円悪化している。

■経済活動との両立

問 新しい生活様式の中で消費拡大に向けた取り組みを伺う。

市長 当面は感染症対策と経済活動を両立させる必要がある。民間消費が促され

るよう商工会議所などと連携して取り組む。

■教育現場への影響

問 学校が約3か月休業した。子供たちの学習への影響や再開後の対応を伺う。

市長 新年度になってからは、復習を中心とした課題だけでなく、新学年の教科書を使用した課題も加えながら対応してきた。再開後は、各学校で学習のつまじさや不安に素早く気づき支援するよう努めている。

問 休業による学習の遅れにどう対応するのか。

市長 夏季休業期間の短縮で年間の授業時数はほぼ確保できるが、指導方法の工夫や学校行事の精選をして、学習や運動、各種活動に取り組み予定である。

■龍城ヶ丘公園、84% 行きたい人を含め

問 コロナ禍で遅れている住民説明の内容を伺う。

都市整備部長 ホームページからの意見募集を2か月間行い、5月と6月にウェブ会議を開催するなど市民との対話を重ねてきた。緊急事態宣言が解除されたことから、延期した説明会の開催の検討を進めている。

問 インターネットでの意見募集の結果を伺う。

会議録は8月下旬に公開

6月定例会の会議録は8月下旬から公開します。市役所本館8階の議会図書室や5階の市政情報コーナー、各地区の公民館、各図書館をご覧ください。市議会ホームページでもご覧になれます。

都市整備部長 公園ができたら行きたいかという設問に「とても行きたい」「行きたい」「普通」の回答が合わせて約84%となった。

問 公園整備による津波の影響をどう考えているか。

都市整備部長 数十年から数百年に1度の津波は、国道134号を越えないことからこれまで同様に影響はないと考える。数千年に1度の最大クラスの津波は、国道を越える想定がされており、ハザードマップに従い速やかに津波避難ビルなどへ逃げる必要がある。

問 議会承認された事業で、住民への丁寧な説明とともにスピード感を持ち進めてほしいが見解を伺う。

都市整備部長 住民との意見交換を行い、4年12月の完成を見据えて進めたい。

5月臨時会 審議の結果

令和2年5月18日に開催された5月臨時会では、市長提出議案が11案件提出されました。

令和2年度一般会計では、特別定額給付金給付事業や児童扶養手当特別給付金給付事業、小規模事業者経営維持緊急支援事業などに関する経費として、合計276億5730万円の補正予算が専決処分され、議会の承認が求められました。質疑では、各種給付金給付事業や市民病院の状況、今後の市の対応などについて問われました。採決の結果、全員異議なく承認しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策に関連し、必要な経済対策を講じていくための財源とするため、特別職員の給与に関する条例の一部を改正する条例が提案され、採決の結果、全員異議なく可決しました。このことにより、令和2年6月から10か月間、給料月額から市長は20%、副市長は10%、教育長、常勤の監査委員及び病院事業管理者はそれぞれ7%が削減されます。

◆議員の報酬月額を削減する条例改正案を可決

新型コロナウイルス感染症における市の緊急経済対策の実施に向け、今後の市の財政状況を鑑み、各会派代表者及び無所属議員から、議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例が提案され、採決の結果、全員異議なく可決しました。このことにより、令和2年6月から6か月間、議長、副議長及び議員の報酬月額からそれぞれ5%を削減します。

市長提出議案

議案番号	件名	結果
第36号	専決処分の承認について〔平塚市介護保険条例の一部を改正する条例〕	承認
第37号	専決処分の承認について〔平塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例〕	承認
第38号	専決処分の承認について〔平塚市国民健康保険条例の一部を改正する条例〕	承認
第39号	専決処分の承認について〔令和元年度平塚市一般会計補正予算〕	承認
第40号	専決処分の承認について〔令和2年度平塚市一般会計補正予算〕	承認
第41号	専決処分の承認について〔令和2年度平塚市国民健康保険事業特別会計補正予算〕	承認
第42号	専決処分の承認について〔令和2年度平塚市一般会計補正予算〕	承認
第43号	専決処分の承認について〔令和2年度平塚市病院事業会計補正予算〕	承認
第44号	平塚市特別職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
第45号	固定資産評価員の選任について	同意
第46号	専決処分の承認について〔令和2年度平塚市一般会計補正予算〕	承認

議員提出議案

会議案番号	件名	結果
第1号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決

報告

報告番号	件名
第2号	専決処分の報告について



減災のまちづくり

諸伏 清児 議員

■検証と対策

問 昨年の台風第19号の検証を踏まえて本市が重要とする取り組みは何か。

防災・危機管理監 指定緊急避難場所の運営方法や避難所の備蓄品の充実、市災害対策本部各班の対応力強化である。

問 指定緊急避難場所運営マニュアルの風水害編を新たに作成したが、どのように有効に運用するのか。

防災・危機管理監 マニュアルは、風水害に特化したマニュアルとして作成した。避難所の開設からのタイムラインや垂直避難時の経路図などを盛り込み、ひな形として作成している。各避難所運営委員会で内容や役割を検討してもらうとともに地域で訓練を行うことで、実効性のあるものとなるように取り組む。

問 新型コロナウイルスの終息が見えない。先行災害に別の災害が発生する複合

災害についても考えなければならぬが、本市はどのような考えているのか。

防災・危機管理監 出水期は、風水害への対応と新型コロナウイルスへの対応が必要となる。風水害に特化したマニュアルに加え、感染症対策マニュアルも作成した。避難所の運営を適切に行っていくと考える。

問 3密を避けるためには避難所の分散化も必要である。風水害の避難所について、地域の実情に合わせて時的に避難所の分散を進めべきと思うが、見解を伺う。

防災・危機管理監 現段階では既存の避難所を有効に活用していきたいと考えている。それでも難しい場合は、地区公民館などを検討していきたい。

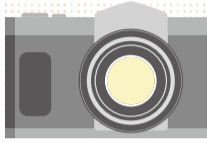
問 被災者の支援については、担当課が多岐にわたる。市民には複雑である。支援漏れのないよう取り組みたい。

1面写真を募集

議会だよりの1面に掲載する写真を募集しています。

市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、季節を感じられる写真など平塚市の魅力を収めた一枚をご応募ください。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。議会局までお問い合わせください。



まなければならぬが、考えを伺う。

防災・危機管理監 今年度から被災者台帳システムを導入し一元管理すること

で、未申請などについて知らせることができるようになった。市民をフォローできると考えている。

■四ノ宮地区浸水被害

問 浸水した地区では、現

在、目に見える対策がされていない。土のうステーションはいつ、どこに設置されるのか。

土木部長 地域住民が取りに行きやすい場所を選定することが必要と考える。公共用地だけでは限りがあるので、できれば地域と協力し、地域の人の土地も含めて検討していきたい。現段階で公共用地としては、四

宮ふれあいセンターなどを考えている。

之宮ふれあいセンターなどを考えている。

問 浸水被害の発生メカニズムの解析報告が滞っている。いつ報告されるのか。

土木部長 現段階で、委託業者には7月末までに報告書の提出を依頼している。8月の台風シーズン前までに地元で説明したいと考えている。

問 昨年の住民説明会では

真剣な意見交換がされた。3密を避けて実施しなければいけないと思うが、十分に地元と協議をする必要がある。見解を伺う。

土木部長 四ノ宮地区には環境対策事務連絡会がある。その代表者と協議しながら、できるだけ多くの人へ説明する機会を持てるよう分散開催などについても協議していきたい。

教育指導担当部長 地域にはさまざまな形で学校や子供たちを支えてもらっている。学校運営協議会と地域学校協働活動の関係者が目標やビジョンを意見交換し、その良さや強みを生かした運営を議論することがスタートになると考える。

■地域コミュニティの創出に向けて



新しい地域の連携と協働について

坂間 正昭 議員

問 新型コロナウイルス感染症防止策により中断した地域自治、地域コミュニティの早期回復や、新しい生活様式に踏み込んだ本市独自の仕組みづくりが必要と考えるが見解を伺う。

市民部長 今後の地域活動は新しい在り方にしていく必要がある。自治会、地区公民館、町内福祉村などが連携して課題解決に取り組む独自の仕組みづくりを地域とともに検討していく。

問 公民館の既存設備を利用したテレビ会議も一つのコミュニティの方法と思うが利用する考えはあるか。

市民部長 各種団体の会議での活用が考えられる。公民館の体制整備や運用方法について研究を進めたい。

■学社連携について

問 分散登校期間中の見

問 2月の社会教育委員会議で、新しい学社連携に向け、地域と学校がパートナーとして地域の活性化を図る「ひらつかスタイル」

問 学校、保護者、地域による活力あるコミュニティの継続と早期の回復にはコミュニティ・スクールの導入が必要ではないか。

社会教育部長 学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組みることが可能となる学校づくりへ有効な仕組みである。昨年度、職員研修を行い、今年度は校長や教頭、教員、関係課で構成する教育課程課題検討連絡協議会で研究していく。

問 学校運営協議会と地域学校協働活動の役割が十分に機能するために、どう一体的に推進していくのか。

清風クラブ 所属議員



片倉 章博 議員



佐藤 貴子 議員



数田 俊樹 議員



須藤 量久 議員



黒部 栄三 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。常任委員会の主な質疑を紹介します。

総務経済

議案3案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は継続審査とすべきものと決定しました。

○議案第47号 平塚市一般職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

問 条例の改正で設けられる日額4千円の手当に該当する勤務とはどのようなものか。

答 新型コロナウイルス感染症の所見がある者又はその疑いがある者の身体に接触する、もしくは長

時間にわたり接して行う作業が該当する。

○議案第50号 工事請負契約の締結について〔相模小学校新築工事(プール棟・建築)〕

問 工事の入札が2度不調となっている。仕様を見直してコストを下げるべきではなかったのか。

答 相模小学校は本体工事と一体で設計委託を行っており、工事を発注している。その設計を見直すとなると、相応の期間を要し、開校にも影響する。そのため随意契約という形で早急な契約をした。

○議案第51号 令和2年度平塚市一般会計補正予算

問 総務費の防犯設備整備事業で60万円を増額補正し、迷惑電話防止機能がある機器の購入費を補助する。どの程度補助するのか。

答 県と市を合わせて購入費の3分の2、上限6千円を補助する。

問 この制度を高齢者へどのように周知するのか。

答 広報などに加え、高齢者よろず相談センターなどの施設に案内をして、高齢者を支援している人からも制度を伝えてもらう。

都市建設

議案1案件は原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第51号 令和2年度平塚市一般会計補正予算

問 土木費の橋りょう震災対策事業で北野橋の耐震化工事を行う。なぜ当初予算ではなく、今回の補正予算で計上しているのか。

答 国の防災・安全交付金を増額して利用することが可能となり補正予算を計上した。事業を調整して北野橋を工事することとした。

公明ひらつか



コロナ禍、急性期から回復期へ・新たな生活様式を求めて

鈴木 晴男 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

問 社会・経済の回復期に向けて、長期展望に立った対策と事業の取捨選択、そして生業の支援や消費喚起の後押しを新たな生活スタイルを含めて実施しなくてはならないが見解を伺う。

市長 新型コロナウイルス感染症対策は長期化が予測されることから、それぞれの段階で適切に対応することが重要である。また、国や県のさまざまな支援策がある中で、本市が取り組むべき施策をきめ細かく着実に実施していくことが求められる。今後は国の第2次補正予算の動向なども注視しながら、感染拡大防止と社会活動を両立する新しい生活様式に対応した社会経済基盤づくりに取り組んでいく。また、地域内の消費喚起と経済循環を高めるための支援を進め、新たな経済活動が展開される好機としていきたい。

問 長期的展望に立った税収予測も必要ではないか。

市長 法人市民税を中心に大きく減収すると予測している。中・長期的展望に立った持続可能な財政運営を展開していく。

市長 感染拡大防止のため、マスクや消毒液、ハンドンブなどの衛生用品、さらに検温のための非接触型体温計を配備した。具体的な対応については、平塚保健福祉事務所の助言を参考に本市独自の感染症対策マニュアルを作成し、配備職員及び施設管理者に周知していく。

問 児童・生徒に1人1台のコンピュータを整備するGIGAスクール構想を進めるに当たり、新たな生活スタイルも視野に入れ、地域や社会教育施設にフリーWi-Fiを導入するべきではないか。

市長 小・中学校体育館に整備予定の無線LANは、災害時には体育館が避難所となることから、利用制限を解除して避難所での情報収集や情報伝達などに役立つ。新しい生活様式を踏まえながら、公衆無線LANの必要性を幅広く検討し、整備を進めていく。

問 家庭の事情でパソコンなどを持っていない児童・生徒には、学びの公平性という点から端末やWi-Fiの機器を貸し出すことも必要ではないか。

教育指導担当部長 ルールも含めて検討を進めている。学びの公平性や学びを止めないということを大事にしていきたい。

問 避難所での感染防止対策の考え方を伺う。

市長 感染拡大防止のため、マスクや消毒液、ハンドンブなどの衛生用品、さらに検温のための非接触型体温計を配備した。具体的な対応については、平塚保健福祉事務所の助言を参考に本市独自の感染症対策マニュアルを作成し、配備職員及び施設管理者に周知していく。

問 避難所は十分な間隔が必要とされるが、分散避難の体制を伺う。

市長 避難とは必ずしも避難所へ行くことではないという国の考え方に基づき、自宅の上階などへの避難も検討してもらうよう周知している。また、避難所で身体的距離を保つには多くのスペースが必要のため、施設管理者の協力を得ながら、使用できる場所の確保を進めている。

問 学校では体育館以外にどこを考えているのか。

防災・危機管理監 同じ学校のほかの部分も柔軟に活用したいと考えている。

ツインシティ整備の進捗について

問 イオンモールへの土地引き渡しがまだに行われていないが詳細を伺う。

都市整備部長 土地区画整理組合とイオンモールで周辺環境の状況確認など事務的な協議を整えていると聞いている。イオンモールが建築工事に必要な手続きな

どの準備を進めており、間もなく引き渡しが行われると考えている。

問 相模小学校の新築工事が遅れているが令和4年4月の開校に影響はあるか。

都市整備部長 各種工事を並行して行うなど、影響がないように進めていく。

契約の在り方などに ついて

問 地元企業の大規模工事への参加機会の確保や育成を目的にJ-V(共同企業体)施工が行われてきたが、より地元企業へ配慮した弾力的運用や出資比率の緩和は考えているのか。



安心・安全に暮らせるまちづくり

上野 仁志 議員

日常生活の安心安全

問 県と市で自治会や商店会に対し、これまで39台の防犯カメラ設置を補助してきた。評価と課題を伺う。

副市長 犯罪発生リスクの高い場所や通学路などに設置され、効果が発揮されていると考える。維持管理費などの負担が課題である。

問 防犯カメラ付き清涼飲料水自動販売機の設置を提案する。見解を伺う。

副市長 犯罪の抑止効果があると認識しており、設置場所や管理形態など導入について研究している。

問 防犯カメラの映像をインターネット経由で記録するクラウドサービスを活用

わせや出資比率を設定する際は、最大限地元企業の受注機会が確保されるよう配慮している。出資比率の設定を可能な限り緩和する方向で地元企業の育成を図ることも必要と考えている。

問 中小企業が官公需の受注増大を図る上で組合による共同受注が有効であるが官公需適格組合の積極的な活用は考えているのか。

総務部長 官公需適格組合は経営基盤が整備されており安心して発注できるため国などの方針では積極的な活用が明記されている。公平性と競争性の確保を前提に他市の事例も参考に積極的に活用していく。



安心・安全に暮らせるまちづくり

上野 仁志 議員

高齢者の安心安全

問 高齢者福祉事業における新型コロナウイルスの影響と活動再開手順を伺う。

福祉部長 活動の自粛や制限を余儀なくされている。

問 認知症高齢者とその家族を守る新たな考えとして重要であると思うが、市長の考えを伺う。

市長 公的制度として効果があるか検討したい。

公明ひらつか 所属議員



秋澤 雅久 議員



石田 美雪 議員



永田 美典 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。常任委員会の主な質疑を紹介します。

環境厚生

議案5案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願2件は全て継続審査とすべきものと決定しました。

○議案第51号 令和2年度平塚市一般会計補正予算

問 衛生費の予防接種事業で、補正予算で追加する内容を伺う。

答 予防接種法の一部改正に伴い、急性胃腸炎を引き起こすロタウイルスの予防接種を、令和2年10月から定期接種化する。

○議案第54号 令和2年度平塚市一般会計補正予算

問 民生費のひとり親世帯臨時特別給付金給付事業は国の事業であり、既に実施している本市独自のひとり親家庭等への特別給付金とは別の事業である。対象者に漏れないようにどのように市民へ周知するのか。

答 広報やホームページ、子育て応援メールでの周知を予定している。児童扶養手当やくらしサポート相談などの窓口でも周知できるよう関係課と連携を図っていく。

教育民生

議案2案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は採択すべきものと決定しました。

○議案第51号 令和2年度平塚市一般会計補正予算

問 教育費の教育の情報化推進事業は、国のGIGAスクール構想を推進し、小・中学校に1人1台のタブレット端末を整備する。国の補助も含めて約14億円の補正予算を計上しているが、どのように事業を進めるのか。

答 教員も含めて約2万台のタブレット端末をリースする。また、小・中学校にネットワークを整備していく。

問 単独調理場運営事業で補正予算を計上して、直営の給食調理場4校にスポットクーラーを設置する。なぜ今までクーラーを設置できなかったのか。

答 以前から調理員より要望があったが、予算面などから導入ができなかった。今回、夏休みが短縮され、暑い時期に給食があることから導入することとした。

湘南フォーラム



新型コロナウイルス対策、予算への影響、主要課題の進捗等を問う

出村 光 議員

新型コロナウイルス感染症対策から

問 市の対応や申請方法の周知を平等に行ったのか。

市長 ホームページやSNS、広報紙、公民館への掲示などで周知している。各種手続きについてはホームページで市民と事業者に分けて情報を掲載し、特別定額給付金については広報紙1面に申請方法を掲載するなどした。さまざまな広報媒体を活用し市民に情報が行き渡るよう進めていく。

問 特別定額給付金を住民税非課税世帯や生活保護受給世帯、父子・母子家庭などへ早急に給付することを検討したのか。

市長 生活が困窮している人へ早く給付する必要があると判断し期間限定で申請書をホームページに掲載した。これについては5月28日から給付を始めている。

問 避難所での感染症予防対策を伺う。

市長 安心して避難できる環境をつくるため、マスクや体温計など必要な資器材を配備した。加えて、風水害時は避難所だけでなく、自宅での垂直避難や親戚・知人宅へ避難するなど、身を守るための適切な避難行動を市民に周知している。

問 令和2年度予算の執行への影響について

市長 新型コロナウイルスの影響で2020年度版実施計画はどう進捗するか。

市長 市民の生命や暮らしを守ることを念頭に、感染症対策を最優先に取り組みながら実施していく。

問 延期や中止とした市イベント予算はどうするか。

市長 感染症対策として必要な事業に組み替えるなどして対応していく。

問 ツインシティ大神地区土地区画整理事業

都市整備部長 都市基盤整備が進み、今年度末には総事業費の約85%を執行予定である。昨年11月に大型物流施設が操業開始し、今年度中に3社が操業開始する予定である。本格的なまちづくりは、相模小学校やイオンモールの完成を見据え開催することとしている。

問 連節バスを走らせると言うが、渋滞への対応やバス停などはどうするのか。

交通政策担当部長 連節バスの導入には関係機関との協議が必要となる。その中で相談、検討したい。

問 相模小学校移転工事

教育長 現在、杭基礎工事を行っており、令和4年4月の開校を目指している。

問 共同調理場の整備候補地が決まった。進捗状況と今後の予定を伺う。

教育長 (仮称)平塚市学校給食基本構想・基本計画の策定に向け検討を進めており、9月頃にパブリックコメントを実施したい。また、PFI導入可能性調査を行い、今年度中に事業手法を決定する予定である。

問 事業の進捗を伺う。

産業振興部長 東京大学生産技術研究所が新型電力発電装置の海域実証を行うため、2年2月に平塚新港に波力発電所が設置された。4月に本格稼働し、約1年間の実証試験で、実用化に向けた研究が行われる。

問 市内企業はどのように関わっているのか。

産業振興部長 大学とゴム製品製造企業が共同で特許申請した波受け用ゴム板の

製造のほか、調査や工事などでさまざまな市内企業の技術が生かされている。

問 市内の学生にもPRすることが重要ではないか。

産業振興部長 市民見学会やSNSを活用した情報発信などに努め、若い世代の知的好奇心を喚起したい。

問 このほかの質問

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

見附台周辺地区整備・管理運営事業

問 整備の進捗を伺う。

都市整備部長 文化芸術ホールは、4年3月供用開始に向け基礎工事を進めている。旧市民センターは、地下部分の解体工事を進めている。スーパーマーケットなどを誘致する錦町駐車場の跡地では、建物の基礎工事に着手し、3年3月オープンを予定している。

問 事業の進捗を伺う。

都市整備部長 文化芸術ホールは、4年3月供用開始に向け基礎工事を進めている。旧市民センターは、地下部分の解体工事を進めている。スーパーマーケットなどを誘致する錦町駐車場の跡地では、建物の基礎工事に着手し、3年3月オープンを予定している。

問 事業の進捗を伺う。

産業振興部長 東京大学生産技術研究所が新型電力発電装置の海域実証を行うため、2年2月に平塚新港に波力発電所が設置された。4月に本格稼働し、約1年間の実証試験で、実用化に向けた研究が行われる。

問 市内企業はどのように関わっているのか。

産業振興部長 大学とゴム製品製造企業が共同で特許申請した波受け用ゴム板の

製造のほか、調査や工事などでさまざまな市内企業の技術が生かされている。

問 市内の学生にもPRすることが重要ではないか。

産業振興部長 市民見学会やSNSを活用した情報発信などに努め、若い世代の知的好奇心を喚起したい。

問 このほかの質問

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

問 市は約12億5千万円の緊急対策を講じたが、小規模事業者への家賃補助制度は売り上げが前年同月の半分以下でないと受けられない。条件を見直し、地代や光熱費、水道代、リース代などの固定費も含め、感染

症対策による損失を補償する手立てが必要であると思うが、見解を伺う。

健康・こども部長 国で事業用家屋にかかる固定資産税の軽減が制度化される一方、賃借料に対する支援がなかったことから、本市の家賃補助は国の施策を補う観点から制度化したものである。国の第2次補正予算が成立し、支援策の充実が図られることから、本市としては新しい生活様式に対応した社会経済の基盤づく

りや地域内消費の喚起などの支援を進めていきたい。市内業者を廃業させないというリーダーシップが必要である。見解を伺う。

市長 国の制度もある中で、市ができることを考えて緊急対策を講じた。最低限ではあるが、自治体としてできる経済対策を行ったところである。市がやるべきことを考えて、市内事業者を支えたい。

問 このほかの質問

学校再開後の学校内の対策

コロナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業



コロナ禍で、市民の安全、安心のできる支援策を最重点に

石田 雄二 議員

感染拡大防止の対策

問 神奈川県で感染者で感染経路不明の割合は、6月に入っても50%以下になったのは1日のみで、連日50%を超えている。こうし

たことから自覚症状のない感染者が市中にいることが推測される。PCR検査の実施件数を増やすことは、感染を食い止める上でも、

感染の第2波、第3波での医療崩壊を防ぐためにも必

日本共産党平塚市議会議員団

要である。しかし、現状は帰国者・接触者相談センターに症状を訴え、保健所から認められた人しかPCR検査を受けることができない。県は医師会などに協力を求め、本市にも集合検査場ができたが、症状がなくてもPCR検査を受けられる体制整備が必要である。人と接触する業種の人

は誰でも自分の健康を確認して働けることが新生活システムの第一の条件ではないか。見解を伺う。

健康・こども部長 本市で医師会が実施しているPCR集合検査は、昼の2時間の中で医師や看護師などを確保して運営されている。1日に10件程度の受け入れ限度を設けている状態であり、件数を増やすというところをしておらず、平塚保健福祉事務所で調整をした人

のみ受け入れられている状況である。今後、件数を増やすことが必要であることは十分に認識している。

問 中小企業や個人事業主への市独自の支援制度

市長 市は約12億5千万円の緊急対策を講じたが、小規模事業者への家賃補助制度は売り上げが前年同月の半分以下でないと受けられない。条件を見直し、地代や光熱費、水道代、リース代などの固定費も含め、感染

症対策による損失を補償する手立てが必要であると思うが、見解を伺う。

健康・こども部長 国で事業用家屋にかかる固定資産税の軽減が制度化される一方、賃借料に対する支援がなかったことから、本市の家賃補助は国の施策を補う観点から制度化したものである。国の第2次補正予算が成立し、支援策の充実が図られることから、本市としては新しい生活様式に対応した社会経済の基盤づく

中学校完全給食

問 共同調理場の整備候補地が決まった。進捗状況と今後の予定を伺う。

教育長 (仮称)平塚市学校給食基本構想・基本計画の策定に向け検討を進めており、9月頃にパブリックコメントを実施したい。また、PFI導入可能性調査を行い、今年度中に事業手法を決定する予定である。

問 事業の進捗を伺う。

産業振興部長 東京大学生産技術研究所が新型電力発電装置の海域実証を行うため、2年2月に平塚新港に波力発電所が設置された。4月に本格稼働し、約1年間の実証試験で、実用化に向けた研究が行われる。

問 市内企業はどのように関わっているのか。

産業振興部長 大学とゴム製品製造企業が共同で特許申請した波受け用ゴム板の

製造のほか、調査や工事などでさまざまな市内企業の技術が生かされている。

問 市内の学生にもPRすることが重要ではないか。

産業振興部長 市民見学会やSNSを活用した情報発信などに努め、若い世代の知的好奇心を喚起したい。

問 このほかの質問

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

見附台周辺地区整備・管理運営事業

問 整備の進捗を伺う。

都市整備部長 文化芸術ホールは、4年3月供用開始に向け基礎工事を進めている。旧市民センターは、地下部分の解体工事を進めている。スーパーマーケットなどを誘致する錦町駐車場の跡地では、建物の基礎工事に着手し、3年3月オープンを予定している。

問 事業の進捗を伺う。

都市整備部長 文化芸術ホールは、4年3月供用開始に向け基礎工事を進めている。旧市民センターは、地下部分の解体工事を進めている。スーパーマーケットなどを誘致する錦町駐車場の跡地では、建物の基礎工事に着手し、3年3月オープンを予定している。

問 事業の進捗を伺う。

産業振興部長 東京大学生産技術研究所が新型電力発電装置の海域実証を行うため、2年2月に平塚新港に波力発電所が設置された。4月に本格稼働し、約1年間の実証試験で、実用化に向けた研究が行われる。

問 市内企業はどのように関わっているのか。

産業振興部長 大学とゴム製品製造企業が共同で特許申請した波受け用ゴム板の

製造のほか、調査や工事などでさまざまな市内企業の技術が生かされている。

問 市内の学生にもPRすることが重要ではないか。

産業振興部長 市民見学会やSNSを活用した情報発信などに努め、若い世代の知的好奇心を喚起したい。

問 このほかの質問

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

ナ禍での市民への下水道料金の減免 市内在住の学生への就学支援 コロナ禍での自然災害時の避難所対策

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

可決した意見書

議員からの提出議案として、本会議の最終日に次の意見書が提出され全員異議なく可決しました。ホームページには全文を掲載しています。

■新型コロナウイルス感染症対策における臨時休校に伴う子どもたちの心のケアとゆたかな学びの保障を求める意見書(抜粋)

新型コロナウイルス感染症拡大により3月から臨時休校が行われ、その後においては感染症拡大防止に最大限留意しながら、分散登校や短縮授業が続いています。突然の休校によって子どもたちは、ともに学ぶ場を失うとともに、友だちとの会話や遊びを楽しむ機会等、かけがえない時間を失いました。前例がない緊急事態の中で、学校が子

どもたちや保護者の不安に向き合うとともに、「社会総がかり」で子どもたちの心のケアとゆたかな学びの支援を継続して行う必要があります。

よって、次の事項について配慮されるよう、強く要望いたします。

1 子どもたちの心のケアを含む心身の健康保持及びゆたかな学びの保障にむけ、きめ細かな支援や配慮のための人的配置を拡充すること。

2 いかなる状況の中でも学びの継続を保障するため、必要な環境整備を国の財源ですみやかに行うこと。



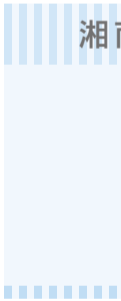
山原 栄一 議員



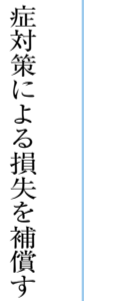
山原 栄一 議員



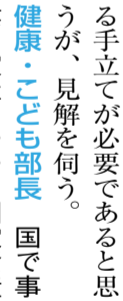
山原 栄一 議員



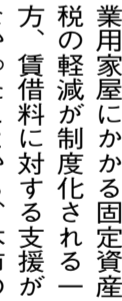
山原 栄一 議員



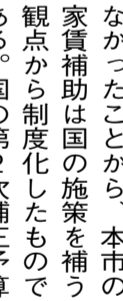
山原 栄一 議員



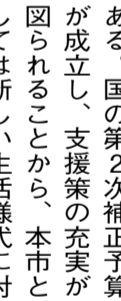
山原 栄一 議員



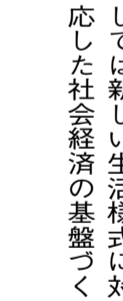
山原 栄一 議員



山原 栄一 議員



山原 栄一 議員



山原 栄一 議員



山原 栄一 議員

所属議員

府川 正明 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員

所属議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

松本 敏子 議員

無所属



市内事業者の育成振興を図る
一般競争入札と随意契約
久保田 聡 議員

問 育成を図る観点から、市内事業者の受注機会を増やすために何を行ったか。

総務部長 分離・分割発注の推進や総合評価方式における優遇配点、災害協定締結団体に加盟する事業者を入札参加対象とするインセンティブ発注、大規模工事における共同企業体発注の活用、下請けや資機材購入における市内事業者の活用要請などを実施している。

問 おける項目別の対象事業者数と発注件数を伺う。

総務部長 現在の事業者数と平成31年度の実績は、工事成績優秀事業者が24者で3件、主観点優秀事業者が75者で4件、社会・環境貢献事業者が173者で2件、ワークライフバランス推進事業者が23者で2件、技術者雇用・育成貢献事業者は対象者なしである。

問 入札が不調となった案件数とその対策を伺う。

総務部長 事業者に見積合わせを依頼する際の具体的な

問 任意契約において見積合わせを依頼する上での基準を伺う。

総務部長 事業者に見積合わせを依頼する際の具体的な

問 31年度は24件あり、主な理由として、市の積算金額との乖離による価格不調や配置予定技術者の人手不足、工期が重複したことによる辞退などが考えられる。対策として、開札後の保留期間中における辞退を減らすため、落札保留通知に3番手までの金額を記載し、落札決定の可能性があることを知らせている。

問 任意契約において見積合わせを依頼する上での基準を伺う。

問 契約手続きにおける提出書類を電子化していくべきと思うが、見解を伺う。

総務部長 電子化は効率化や生産性向上などメリットがあるが、電子署名や改ざん防止のための認証などが必要となり課題である。書類の電子化だけでなく、手続き全体の電子化も研究していきたいと考えている。

このほかの質問 新型コロナウイルス感染症対策

このほかの質問 新型コロナウイルス感染症対策



子どもたちの成長を
社会全体で支えよう
小泉 春雄 議員

新型コロナウイルス
感染症への対応

問 イベントの中止などが決定しているが、来年の消防出初式は実施するのか。

消防長 実施したいところではあるが、感染拡大防止を最優先に考えなければならぬと思っている。国や県、市の方針により、早い段階で判断したい。

問 市内駅伝競走大会はどうするの。

社会教育部長 現段階では例年どおりの実施を予定している。安心・安全な大会運営を最優先に、関係団体

と協議の上、検討したい。

問 成人式はどうか。

健康・こども部長 例年どおり1月の開催を目指している。新成人で構成する実行委員会の声を聴きながら検討していきたい。

問 小・中学校は3月2日から約3か月の臨時休業となった。この対応について教育委員会の所見を伺う。

教育指導担当部長 やむを得ない措置と受け止めているが、長期間にわたり教育を止めてしまう不安はあった。児童・生徒や保護者に与えた影響は計り知れないと捉えている。感染拡大防

止においては一定の効果はあったと認識している。

問 旧学年で失われた授業時間は、新学年でどのような確保するのか。

教育指導担当部長 例えば4年生でやり残した部分を5年生の単元の初めにやりながら次の単元に入るような形で補てんすることを考えている。

問 中学校3年生の修学旅行は一生に一度のことで、実施してほしいがどうか。

教育指導担当部長 5月に予定していた修学旅行は、秋以降に延期し日程調整している。そのほかの行事も各学校でどのようにしたらできるかを検討している。しかし、健康と安全を第一に考えなければいけないと

問 運動会はどうか。

教育指導担当部長 学校で試行錯誤し、できるだけ進めたいという思いの中で検討している最中である。

問 教室などの消毒は誰がやっているのか。

教育指導担当部長 各学校の教員が、児童・生徒が下校した後に消毒している。

問 教育委員会で消毒を行う人を雇ったらどうか。

教育指導担当部長 国も学習指導に当たる人やサポートスタッフを活用するように言っており、本市でも募集をしている。その人たちにも協力してもらおう形で教員の負担を減らしたい。

審議の結果

市長提出議案 ※全ての議案を全員異議なく可決・同意しました

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists 20 items from 第47号 to 第68号.

議員提出議案 ※全員異議なく可決しました

Table with 3 columns: 会議案番号, 件名, 結果. Lists 1 item: 第2号 新型コロナウイルス感染症対策における臨時休校に伴う子どもたちの心のケアとゆたかな学びの保障を求める意見書.

請願

Table with 3 columns: 請願番号, 件名, 結果. Lists 6 items from 令和元年第3号 to 第2号.

報告

Table with 3 columns: 報告番号, 件名. Lists 7 items from 第3号 to 第9号.

会派と所属議員

Table listing party names and members: 清風クラブ, 公明ひらつか, 自由民主党ひらつか市議会議員団, 無所属.

常任委員会の新たな委員構成が決まりました

5月18日に臨時会を開催し、常任委員会委員などを改選しました。
 産業、福祉、教育、まちづくりなど、多岐にわたる市政の課題などを調査し、付託された議案や請願を専門的に審査するのが常任委員会です。
 議長を除く全ての議員は、四つの分野に分けられた常任委員会のいずれかに所属します。

◎…委員長 ○…副委員長 ()内は所属会派



議長 片倉 章博
(清風クラブ)

総務経済

- 防災
- 危機管理
- 行財政運営
- 情報政策
- 財産管理
- 税務
- 産業振興
- 競輪事業など



◎野崎 審也
(清風クラブ)



○鈴木 晴男
(公明ひらつか)



数田 俊樹
(清風クラブ)



久保田 聡
(無所属)



渡部 亮
(しらさぎ・無所属クラブ)



金子 修一
(しらさぎ・無所属クラブ)



山原 栄一
(湘南フォーラム)

環境厚生

- 社会福祉
- 子育て
- 保健衛生
- 青少年育成
- 環境政策
- ごみ処理 など



◎端 文昭
(しらさぎ・無所属クラブ)



○佐藤 貴子
(清風クラブ)



石田 美雪
(公明ひらつか)



松本 敏子
(日本共産党
平塚市議会議員団)



府川 勝
(しらさぎ・無所属クラブ)



府川 正明
(湘南フォーラム)

教育民生

- 市民協働
- 文化振興
- 学校教育
- 社会教育
- 公民館
- スポーツ振興 など



◎諸伏 清児
(清風クラブ)



○出村 光
(湘南フォーラム)



秋澤 雅久
(公明ひらつか)



黒部 栄三
(清風クラブ)



小泉 春雄
(無所属)



臼井 照人
(しらさぎ・無所属クラブ)

都市建設

- 都市政策
- 交通政策
- 公園
- 道路
- 下水道
- 消防 など



◎永田 美典
(公明ひらつか)



○江口 友子
(しらさぎ・無所属クラブ)



上野 仁志
(公明ひらつか)



石田 雄二
(日本共産党
平塚市議会議員団)



坂間 正昭
(清風クラブ)



須藤 量久
(清風クラブ)

議会運営委員会

定例会の日程や議事の進行などを協議するために設けています。議会運営委員会委員についても改選しました。

- ◎佐藤 貴子 (清風クラブ)
- 鈴木 晴男 (公明ひらつか)
- 諸伏 清児 (清風クラブ)
- 端 文昭 (しらさぎ・無所属クラブ)
- 金子 修一 (しらさぎ・無所属クラブ)
- 山原 栄一 (湘南フォーラム)

市議会の傍聴について

9月定例会の本会議と常任委員会は、右記日程での開催を予定しています。本会議は午前10時に開会の予定です。

なお、本会議はケーブルテレビ(SCN)での生中継と当日夜の録画放送、インターネットでの生中継と録画中継の配信を行っています。ぜひご利用ください。

今後の市議会の対応について

本紙に掲載されている情報は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みに伴い変更する場合があります。

詳細については議会局までお問い合わせください。

9月定例会の予定

8月28日(金)	本会議 (提案説明など)
9月8日(水)	本会議 (総括質問)
9日(木)	本会議 (総括質問)
10日(金)	本会議 (総括質問)
11日(土)	本会議 (総括質問)
15日(水)	常任委員会 (総務経済・都市建設)
16日(木)	常任委員会 (環境厚生・教育民生)
24日(土)	本会議 (表決など)

問い合わせ
平塚市議会 議会局 ☎0463-21-8791